

● 院内災害対応訓練 2020.11.06

こんにちは。研修医 2 年目の S.O です。6 年生はマッチングの結果も出て、卒業試験、国家試験の勉強を頑張っているところでしょうか。そんな研修医 2 年目も、来年度からの専攻医登録の手続きをしている最中で、書類作成等々している時期です。

さて、今回は 10 月 31 日に行われた、院内災害対応訓練について記事を書かせていただきます。



赤十字病院には、災害拠点病院としての役割もあります。毎年 1 回、研修医も参加した訓練が当院で行われています。昨年は、一昨年に胆振東部地震があったことから、地震を想定した訓練が行われました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行から、それに準拠した訓練が行われました。3 密を避けるためということもあり、参加人数や規模を縮小した状態で行われました。

私は、上級医の先生につき、患者の把握、搬送の手続き、院内での診療体制の構築などの連絡調整のお手伝いをさせていただきました。単なる訓練だろうと思って開始しましたが、本番さながらの雰囲気で行われました。たくさん入ってくる情報の集約と、他部署への連絡に追われ、大規模災害や感染症の難しさを感じました。他の研修医は、実際の搬送訓練も行っており、防護服着用や導線確保で学ぶことが多かったようです。



大規模災害時には、通常通りの診療は難しく、大規模災害を考慮したシミュレーションの必要性を痛感しました。

コロナウイルス流行もあり、例年ある空港災害訓練や、マラソンのメディカルランナーとしての参加がなくなるなど、今年度は研修医が参加するイベントは減っていますが、日常診療とは別の側面から医療について学ぶことができます。



写真左：COVID-19 感染対策本部 診療統括班
写真右：北海道立北見病院陰圧室→当院 ICU へのストレッチャーでの患者搬送
それぞれの役割を担当する 2 年次研修医